年間授業計画 様式例

## 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 芸術 科目:音楽I 科目:音楽I 単位数: 2 単位

 教 科: 芸術
 科 目: 音楽I

 対象学年組:第 1 学年 1 組~ 8 組

使用教科書: (『高校生の音楽1』(教育芸術社)

教科 芸術 の目標:

【知 識 及 び 技 能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

)

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
関わり及び音楽の多様性について理解するととも	ることや、音楽を評価しながらよさや美しさを	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり 音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に 親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしてい く態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				4п	思	学	配当
			歌	器	創	賞	日下川川がた十	ΛΗ	<i>(</i> E)	,	時数
1学期	ガイダンス  1 歌唱 【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 ・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについれて理解する。 ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表見微いを創意工夫したり、他者ので表したりましたり、他者ので表したりましたり、他者ので表したり、他者ので表したり、他者ので表したり、他者ので表したり、他者ので表したり、他者ので表したり、他者ので表したり、他者ので表したり、他者ので表したり、他者ので表したり、他者ので表したり、他者のも必然を表した。		0			0	【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音高や音価、強弱を意識しながら自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫したり、他者の演奏を、根拠をもって評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に歌唱表現の基礎を身に付けようとしている。	0	0	0	12
	2 ギター 【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 ・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・両手の使い方に注目しながら他者の演奏を、根拠をもって評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的にギターの基礎を身に付けようとする。	指導項目 ・説		0		0	【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・両手の使い方に注目しながら他者の演奏を、根拠をもって 評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的にギターの基礎を身に付けようとしている。	0	0	0	10
	1 歌唱 【知識及び技能】 ・言葉の特性と曲種に応じた発声と の関わりについて理解する。 ・重唱や合唱による歌唱表現の特徴 を理解する。 ・他者との調和を意識して歌ったり する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】・自己工夫したり、他者の演奏、 化制定活力、判断がた。他者の演奏、 根拠を持って評価したり間性等】・主体的・協働的に曲想を生かした 表現を生み出そうとする。	指導項目 ・発声の基礎 ・和音の種類と、合唱にふさわしい 歌い方 ・曲にふさわしい発声や発音と、そ れらの働きとの関わり ・伴奏の働きと歌との関わり ・鑑賞をとおした上記の内容の確 認・聞き取り	0				【知識及び技能】 ・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・重唱や合唱による歌唱表現の特徴を理解している。 ・他者との調和を意識して歌ったり重唱や合唱の特徴を生かして歌ったりする技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫したり、他者の演奏を、根拠を持って評価したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に曲想を生かした表現を生み出そうとしている。	0	0	0	10
2 学期	方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・強弱やテンポ、音色についてイ メージをもってギターの演奏を創意	指導項目 ・基本的な奏法(コード奏法等) ・楽典(音程、音階、コード) ・強弱やテンポ、音色の表現上の効果・曲にふさわしい強弱やテンポ、音色や、そのための右手の使い方 ・鑑賞をとおした上記の内容の確認・聞き取り		0			【知識及び技能】 ・曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 ・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・強弱やテンポ、音色についてイメージをもってギターの演奏を創意工夫したり、他者の演奏を、根拠をもって評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に、自分なりのイメージをもって表現しようとしている。	0	0	0	10

	3 等 【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 ・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】・自己のイメージをもって箏の演奏を創意工夫したり、他者の演奏を創意工夫したり、人間性等】・主体的・協働的に箏の基礎を身に付けようとする。	・基本的な奏法	0	0	【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け ようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己のイメージをもって拏の演奏を創意工夫したり、他者 の演奏を、根拠をもって評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に筝の基礎を身に付けようとしている。
3	1 鑑賞 【知識】・音楽の特像と文化的・歴史的背景、世界の音楽の種類とそれぞれの特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】・自分や社会にとっての音楽の意味や価値や、音楽表現の共通集やのよさについて考えながら、味わきとしさについて考えながら、味わらにではいいたり、音楽のよさや美しさについて明かり、音楽のよさや美しさについて味わったり、音楽のよさや美しさについて味わったり、音楽のよさや美しさについて味わったり、	指導項目 ・世界の音楽(西洋音楽、アジアの 音楽)の種類や歴史、音楽的特徴 ・音楽表現の共通性や固有性 ・音楽の文化的・歴史的価値や良さ		0	【知識】 ・音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり や、世界の音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 《思考力、判断力、表現力等】 ・自分や社会にとっての音楽の意味や価値や、音楽表現の共 通性や固有性について考えながら、音楽のよさや美しさについて自ら味わっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に音楽の特徴や文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解したり、音楽のよさや美しさについて味わったりしている。
9 学期		指導項目 ・基本的な作曲技法とそれらの働き ・簡単な旋律の創作	C	0	【知識及び技能】 ・音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 ・反復、変化、対照などの手法を活用して旋律を作る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己のイメージをもって創作活動を創意工夫したり、他者の演奏を、根拠をもって評価している。 【学びに向かう力、人間性等】・主体的・協働的に箏の基本奏法や簡単な旋律の創作技能を身に付けようとしている。